

# 明治維新



## 益田 右衛門介 (マスタ ウエモン/スケ) 天保4年(1833)~元治元年(1864)



### 人物紹介

〈幼名〉幾三郎 〈号〉翠山  
〈通称〉越中・弾正・右衛門介

萩藩の永代家老。益田元宣の次男として生まれ、嘉永2年（1849）に兄、父が死去したため十六歳で家督を継ぐ。嘉永6年（1853）の黒船来航の際は浦賀表御手当御用惣奉行を務め、安政3年（1856）に当職、安政5年（1858）には江戸当役を任された。文久3年（1863）の8月18日の政変により藩が失った政治勢力の回復のため、元治元年（1864）の禁門の変（蛤御門の変）で藩兵を率いるも敗退する。幕府への謝罪のため三家老の一人（福原越後（調べ案内No.6）、（国司信濃（調べ案内No.7））として切腹。32歳没。

吉田松陰の兵学門下であり、松陰とは親交があった。また、慶応元年に旧臣によって建立された笠松神社に祀られている。

### 資料紹介

県立図書館所蔵の益田右衛門介に関する本



- 伝記
- 『益田親施』 田中 助一著 1970 Y289/MA66 年譜p50-58
  - 『益田氏と須佐』 西村 武正編集 1997 Y289/MA66  
(三十三代 益田親施p132)
- 人物略伝
- 『贈正四位益田親施略伝』 村田 峰次郎著 1934 Y289/MA66
  - 『須佐町の碑石と碑文』 須佐町文化財保護審議会編 1980 Y273.2/L 0  
(笠松神社 益田親施墓碑p7)
  - 『須佐町誌』 須佐町誌編集委員会編 1993 Y273.2/M 3  
(三三代 益田右衛門介親施p161)
  - 『野史台維新史料叢書13 傳記4』 日本史籍協会編 1974 R210.58/K 2  
(益田右衛門介p10)
  - 『月刊・松下村塾 Vol.6』 月刊 松下村塾編集部編 2005 Y289/Y 86/N 4  
(松陰のよき相談役 益田弾正p31)
  - 『名家老とダメ家老』 加来 耕三著 2006 281.04/N 6  
(京都政界復権を図り拳兵、「禁門の変」で敗れ切腹 益田右衛門介p156)



- ◇ リストでご紹介した本は図書館にある本のごく一部です。  
このほかにも関連する本がありますので、詳しくはお問い合わせください。

**山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています**



山口県立山口図書館 総合サービスグループ  
TEL：083-924-2114（調査・相談）  
FAX：083-932-2817  
ホームページ：http://library.pref.yamaguchi.lg.jp

作成日：平成26(2014)年10月31日  
更新日：平成29(2017)年5月25日